

令和4年度 第2回居合道三段以下審査会 審査員講評

教士八段 金田 和久

令和5年3月18日に「令和4年度第2回居合道三段以下審査会」が東京武道館大道場において開催されました。

東京都剣道連盟並びに居合道部会役員、係員の皆様には早朝より新型コロナウイルスの感染予防対策を含め会場設営などのご準備をしていただき感謝申し上げます。

合格された皆様、この度はご昇段誠におめでとうございます。

まだ新型コロナウイルスの影響で十分に稽古できなかったかもしれませんが目標を達成され心からお祝いを申し上げます。

残念ながら不合格になられた皆様にはもう少しだったと思いますので次回までしっかりと稽古を積んで挑戦してください。

今回の審査科目実技として各段共通で全剣連居合 一本目 前、三本目 受け流し、六本目 諸手突き、七本目 三方切り、九本目 添え手突きの五本が指定技になりました。

「結果」

初段(受審者)91名(合格者)88名(不合格者)3名(合格率)96,7%

二段(受審者)56名(合格者)53名(不合格者)3名(合格率)94,6%

三段(受審者)38名(合格者)38名(不合格者)0名(合格率)100%

以上とても高い合格率を達成することができました。

これも会長はじめ各支部の指導者が各指導現場において長年に亘り正しく指導してきた積み重ねにより全体的にレベルアップした成果であると感じております。

三段以下審査会では現在一級、初段、二段の方が受審者しますので、今回の指定技を中心に現時点で普段の稽古において留意する点を参考までに記させていただきます。

三段以下審査では①正しい着装と作法 ②正確な抜付け、切付け ③正確な血振り、角度 ④正確な納刀の4項目を留意して評価致します。

指定技に関しては解説書の審査上の着眼点を留意してください。

このようなことから当該段位相当の実力があるか否かを審査致します。

「演武の流れ」

始めの立礼から最後の立礼まで滞りなくスムーズに行うように演武するといいいでしょう。

普段回数をかけて審査形式で五本を続けて抜くことにより流れるように演武できるようになるでしょう。

「姿勢」

演武中に体勢が崩れたり、ぶれたりすることがあります。

正座した時、立ち姿のときには丹田を意識して状態は脱力、下半身は堅固に保ち、体の中心を意識してみましょう。

足裏感覚が大切ですので鋭敏に床を感じてみてください。

「礼法」

神前、刀に対して心を込めて丁寧に正確に礼をするといいいでしょう。

額づく速度など急がずに雑にならないように行ってみましょう。

「一本目 前」

抜き付けは居合の生命と言われていいますので、鞘放れで減速したり、刃筋がくるったりしないようにしましょう。

鞘操作が大切ですので鞘引きと共に研究してみてください。

一本目前だけではないですが振りかぶりは刀が水平より下がらないようにしましょう。コツとして振りかぶったときに右手より左手の方が下がっていれば水平より下がらなくなりますので稽古してみてください。

「三本目 受け流し」

敵の切り下ろしてくる刀を命懸けで受け流さなければならないので集中して刀で体をかばいましょう。

袈裟の切り下ろしは左腰が左に引けると左足が種目足になりますので左腰が引けないようにしてみてください。

「六本目 諸手突き」

三人の敵を強くイメージして敵の位置と距離感が演武で表現できるように稽古してみましょう。

突く時は腰を入れて手の内を効かせて突きましょう。

他の立ち技でも共通ですが切り下ろした時に上体が前後動することがありますので肩の力を抜き、姿勢を崩さずに行ってみましょう。

「七本目 三方切り」

諸手突きと同様に三人の敵の位置、距離感を強くイメージしましょう。
振りかぶる時は手首が硬くならず柔らかく使って行ってみましょう。

「九本目 添え手突き」

抜き打ちの時に鞘引きが不十分にならないようにしましょう。
鞘引きが効果的に行われれば物打ちに力が加わってくるでしょう。
突く時は十分腰を入れ体の中心を意識して前後左右に体が傾かないようにしましょう。

「まとめ」

審査ではいつもより緊張するものでして今回も緊張されているなど感じた方が多々いらっしゃいました。

対策として普段の稽古中に審査と同じようなモチベーションで稽古しているかが重要になりますので、

稽古は審査のように、審査は稽古のように行うといいでしょう。

技を正確に演武することは大切ですが居合道は対敵動作ですので伸び伸びと自分の運動能力を全面に出して演武してみましょう。

そのように稽古していけば自然な体の動かし方が身に付くでしょう。

三段以下審査合格への近道はまずは基本に忠実に演武できることが大切になります。

基本である手の内、刀の振り方、体勢は常に基本にかえって反復して確認をしていきましょう。

基本を身につけるまでは時間がかかるものですのでコツコツと継続してください。

以上、日頃の稽古の参考までにしていただけましたら幸いです。

皆様方の更なるご精進に期待しております。

以上